

サバ州地球温暖化防止センター SDGs達成へ寄与！“気候変動×スクールマニフェスト”で未来を描くProject Phase II

活動地域  マレーシア

ひろげる助成

3年目

実践

サバ州認定地球温暖化防止講師

18人

気候変動プログラム授業受講者

335人

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

100%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルスの影響によりサバ州への郵送物到着の遅延等が発生した。感染の拡大によるイベント開催の中止が相次ぎ、開催のスケジュール等にも影響が出た。

■工夫した点

オンライン会議と並行してマレーシアで汎用性の高いWhatsAppアプリを活用し、担当者レベルの細かな確認事項を共有した。



課題

資源産出国でエネルギーに係る意識が希薄であり、“地球温暖化防止の取組み”が全く見られず、マインドセットが不十分な状況であり、気候変動対策教育が喫緊の課題。

目標

スクールマニフェスト等によりサバ州と秋田の高校生の地球温暖化防止意識が醸成され、サバ州の学校ではパリ協定とSDGsが認知され、達成のための取組みが推進される。

活動内容と成果

- ①気候変動及びSDGs Goal-13達成へ向けた「SERASIコンテスト」開催。エントリー数182校（CEEAA賞：3校）▶優良事例集及びバーチャルギャラリー作成
- ②サバ州認定地球温暖化防止講師の人材育成。全州域18人認定/認定講師による授業参加生徒数335人。
▶気候変動対策×スクールマニフェスト授業用サイドブック
- ③サバ州気候変動国際会議での報告▶参加者数557人。
参加国：英国、米国、オーストラリア、タイ、インド、インドネシア、日本、マレーシア/YouTube視聴回数3,909回



全助成期間の活動を振り返って

SERASIコンテストでは、小学校の部、中学校の部に、気候変動とSDGsに関する特別賞を設定した。若年層の取組みの優良事例をまとめ、冊子とバーチャルギャラリーにて周知した。同州で初の開催となり、事務局も発表に参加した気候対策シンポジウム等、「地球温暖化対策」の重要性が州全体に周知された。構築した気候変動対策養成プログラムにより18人の認定講師が誕生するなど、広がりを見せている。

〒010-0912
秋田県秋田市保戸野通町7-33 2F
電話：018-874-8548
E-mail：info_ceeda@ceedakita.org
HP：http://www.ceedakita.org/



今後の展望

18人の認定講師による気候変動対策プログラムの展開、優良事例として取り上げた児童生徒による地球温暖化への取組みなど、本事業がもたらした教育効果により事業が発展・継続されることが見込まれる。また、プログラム目標である気候変動を争点に考えられ、イノベーションの核となる人材が育成されることが期待できる。検証評価を経て、プログラムがより良いものに改変されるべく今後もサバ州環境局と連携していきたい。